

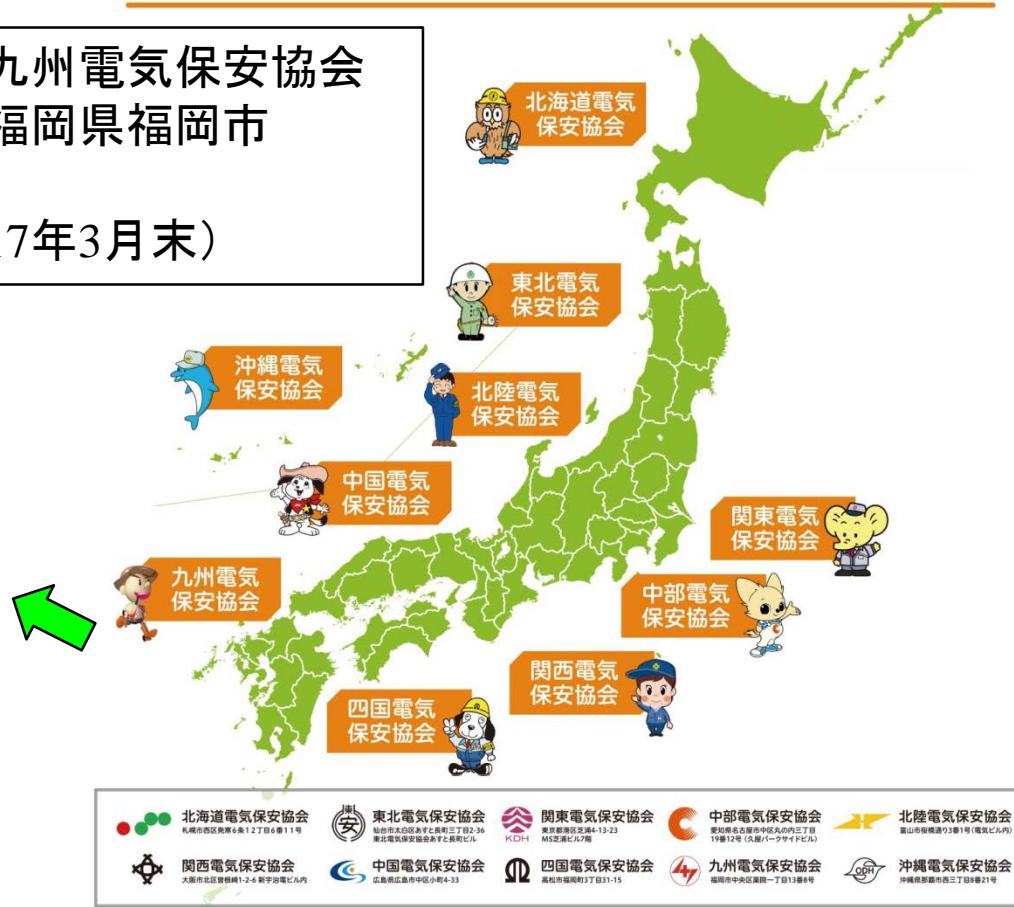
安全に電気を使うために

(体験、感電と短絡)

一般財団法人九州電気保安協会
事業部 保安G 安森 寿和

全国10協会350拠点の連携

名称：一般財団法人九州電気保安協会
 本部所在地：日本国福岡県福岡市
 設立：1966年1月18日
 従業員：1262名（2017年3月末）



配布する広報誌等



広報誌



PR
パンフレット

Symposium Fisuel – Indonésie – 10 & 11 Mai 2017

Fisuel Symposium – Indonesia – 10th & 11th of May, 2017

街頭PRや電気使用安全教室

街頭PRは、チラシの配布、電気使用安全教室は、テキストや電気使用安全用PRビデオを使ったものが主な内容です。



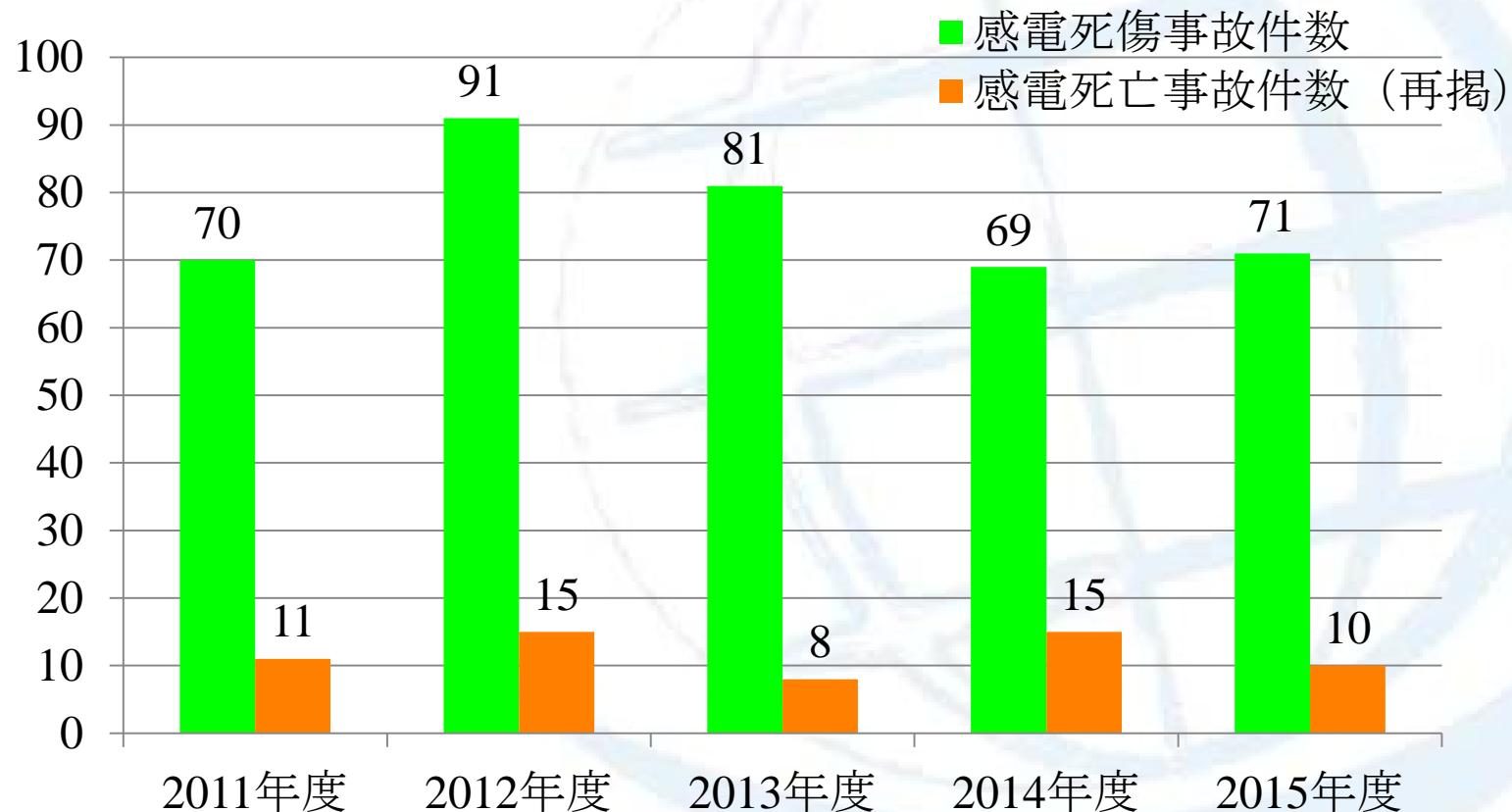
街頭PR

小学生を対象とした電気使用安全教室

Symposium Fisuel – Indonésie – 10 & 11 Mai 2017

Fisuel Symposium – Indonesia – 10th & 11th of May, 2017

最近の感電死傷事故件数



※電気保安統計より

感電した時の状態

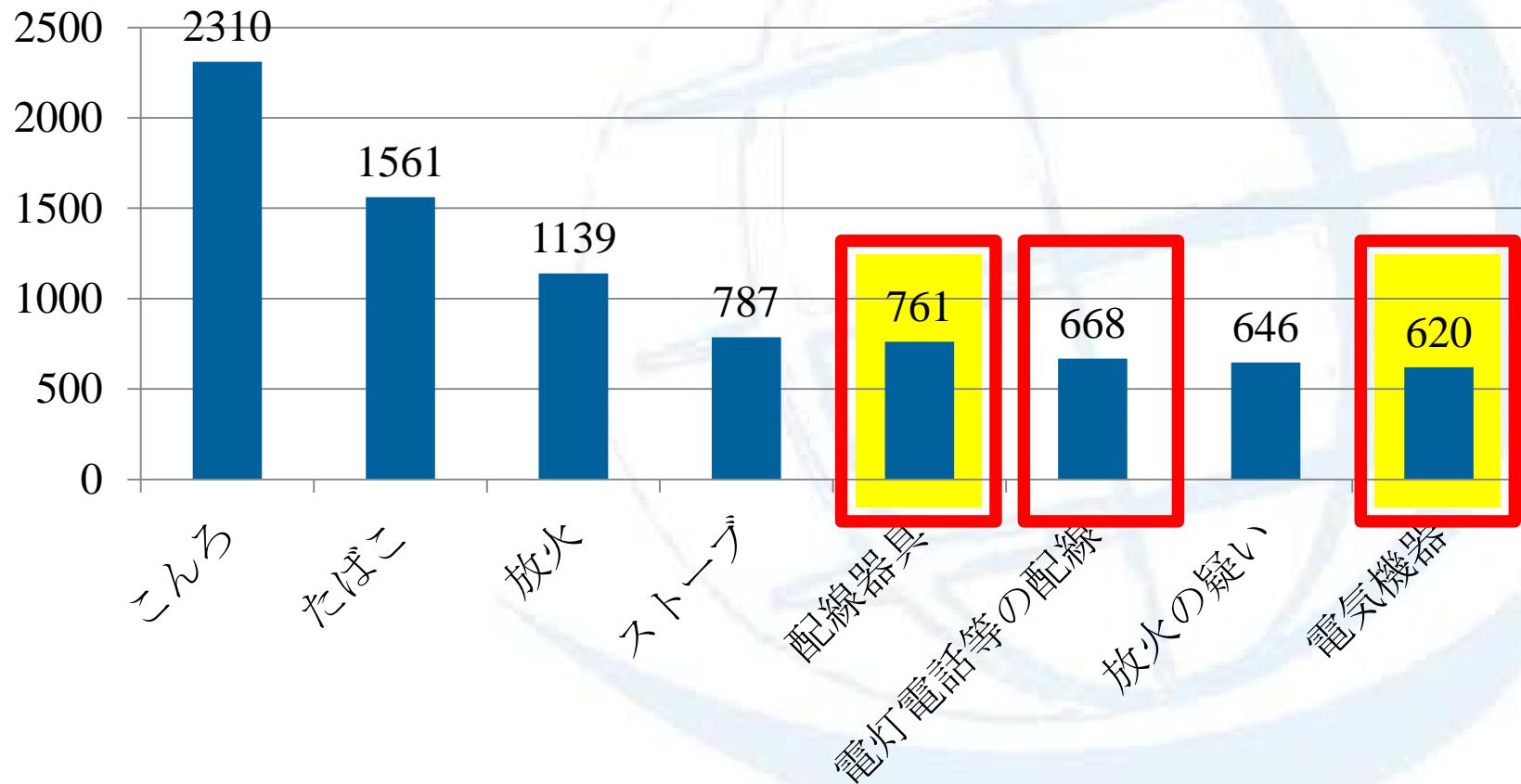
●感電すると、どうなる?

図:人体に対する電流の影響



平成28年1月～9月の建物火災件数（15,696件）

主な原因別件数



火災につながる使用例

発火につながる 危険なタコ足配線

コードや配線器具には、一度に流すことができる電流の量が決められています(定格容量)。テーブルタップなどにたくさんのプラグを差してタコ足配線をすると、定格容量を超えて発火する危険があります。電気製品は、コンセントから直接使うようにしましょう。



一般 財団法人 九州電気保安協会

プラグを抜くとき コードを引っ張らないで

コンセントからプラグを抜くときにコードを引っ張ると、接続部分に無理な力がかかり電線が切れて、過熱の原因になり、思わぬ事故を引き起こすことがあります。プラグを抜くときは、必ずプラグの根元を持つ習慣をつけましょう。



一般 財団法人 九州電気保安協会

日頃プラグを抜かない電気製品は トラッキング現象に要注意

冷蔵庫や洗濯機などのプラグをコンセントに長期間差し込んだままにしていませんか。プラグとコンセントの間に溜まったホコリに湿気が加わることで発火し、火災につながることがあります(トラッキング現象)。プラグを時々抜いて、コンセントの点検、清掃をして安全に使いましょう。



一般 財団法人 九州電気保安協会

“うっかり”が危険 スイッチの切り忘れ

アイロンやドライヤーなどの熱を発する電気製品を使用しているときに、来客や電話でついその場を離れてしまうことはありませんか。スイッチの切り忘れは事故のもと。その場を離れるときは、必ずスイッチを切り、プラグを抜く習慣をつけましょう。



感電体感に関する注意事項

次の方は感電体感をご遠慮ください。

①ペースメーカーを使用している方

②体調がすぐれない方



感電体感器の操作については、係員の指示に従ってください。

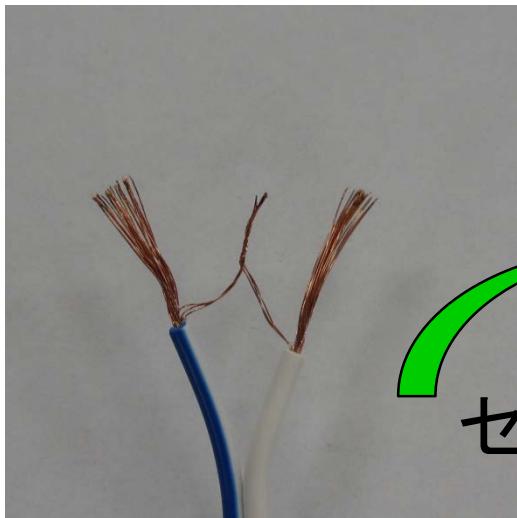
感電体感装置



感電体感装置



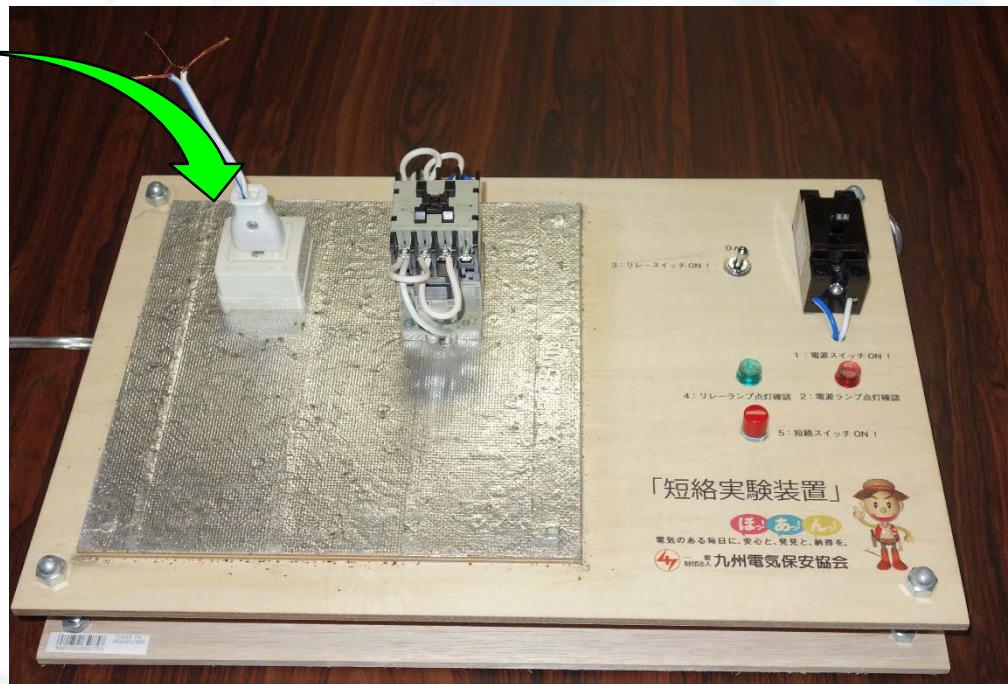
短絡実験装置



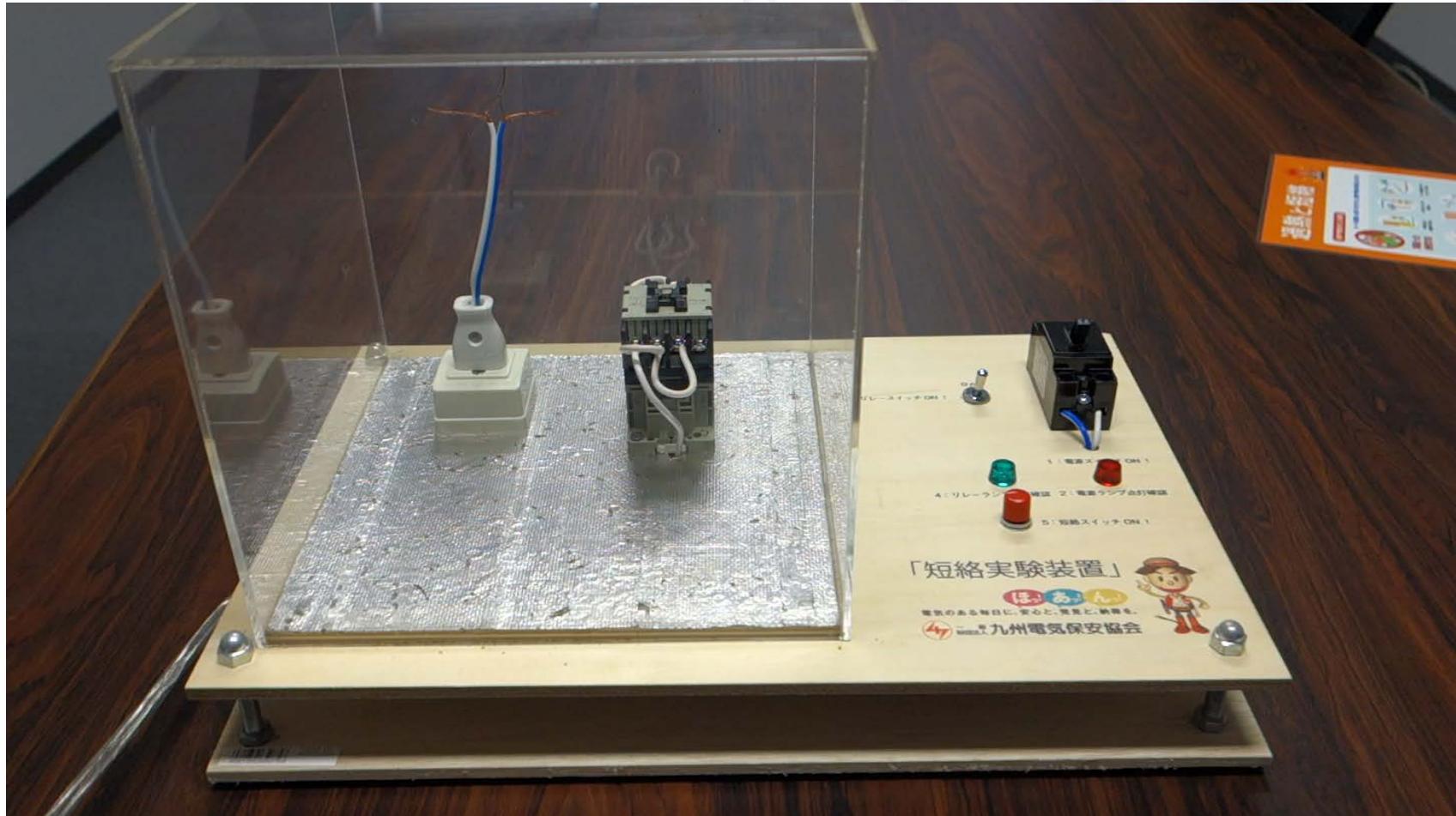
セット



電線をつなぐ
(短絡した状態を作る)



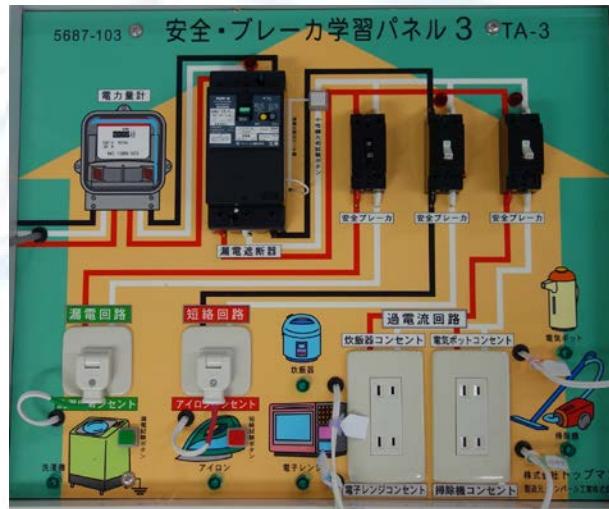
短絡実験装置



Symposium Fisuel – Indonésie – 10 & 11 Mai 2017

Fisuel Symposium – Indonesia – 10th & 11th of May, 2017

家庭の分電盤(模擬盤)



過熱実演装置

THANK YOU

MERCI



fisuel